



市保連 だより

2012
(2月)

〔第417号〕

平成24年2月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 富永博文
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 稲垣 昇
委員 川口 延子
委員 角 奈二郎



理事会

“陸前高田の一本松”に思う！

福利厚生委員長 田中啓志

東日本大震災から9ヶ月、被災した人たちを支え続け、復興のシンボルとなっていた“奇跡の一本松が枯死”という記事を目にし胸が痛みました。日本百景の一つで7万本あった岩手県陸前高田市の高田松原は、大震災による大津波でことごとく流失し、かろうじて残った樹齢270年の一本松。奇跡の一本松として、被災された人たちはもちろん、『復興のシンボル』として全国の人たちの心を支え続けてきた松。しかし、地震による地盤沈下で根が塩水に浸り、一本松の枯死が避けられない状態になったということでした。

その一方で、何とか一本松の芽を残そうという動きが生まれ、“希望の芽”を育てようとしている人たちのことが紹介されていました。一本松を接木し、その芽を大事に育てている人たち。『私たちのことを9ヶ月間支えてくれた松に対し、恩返ししたい。』『私が生まれる前からあった松だから…』更にその動きは広まり、ある企業は一本松の『松かさから採取した種子を苗に育てることに成功した』ということも紹介されていました。

多くの人たちの生命や生活の営みを一気に飲み込み、破壊してしまった大津波。関連ニュースにふれる度に、心をえぐられる思いに駆られていましたが、復興に向けての様々な動きもようやく軌道に乗り、再生へのうねりも大きくなってきていることをうれしく思います。大地震・大津波に追い打ちをかけるように降りかかってきた原発事故、一連の悪夢のような出来事は、自然災害の恐ろしさと安全神話の崩壊という現実を私たちに突きつけてくれました。今回

の大震災は、高度成長期以降、右肩上がり当たり前となり、マネーゲームに振り回されてきた社会に対する自然からの警告であったかにも思えません。平気で人の心を踏みしじり、社会的・経済的弱者をお荷物扱いするような風潮に対する警告…



しかし、震災後復興を目指し、それらに立ち向かう人たちの姿、一人ひとりには非力ですが、共鳴し、協働し合うことで大きなうねりとなり、国内はもちろん世界中の人たちの心を揺るがしました。そして私たちは、人と人を結ぶ“絆”の大切さ、家族そろって日々の食卓を囲むという平凡なことの有難さを大きな犠牲の上に気付かされました。

もうじき大震災から1年を迎えようとしていますが、2万人近い犠牲者の方や今も苦しむ原発被災者の方々の思いを深く受け止め、復興に向け“希望の芽”の再生を願いながら、今自分にできることを探していきたいと思えます。

最後になりましたが、新保育システムをめぐる審議も大詰めを迎え、最終局面におけるしのぎ合いという状況です。私たちは状況に振り回されることなく、きちんと親子に向き合い『何が求められているのか』『いま私たちは何をすべきか』そして『どのような形が望ましいのか』私たちにとって大切なことを見失わずに、議論を深めていく必要があると思えます。



保育士会

絆を築いていくこと

リズム保育園 保育士 横山 友紀子

2011年の漢字は“絆”でした。人として様々な事を考えさせられる年でもあり、この言葉は、保育の現場でも大切なことだと思います。

私は今、2歳児の担任をしています。新学期がはじまり新しいクラスを受けもつときには、いつも考えてしまうことがあります。子ども達も新しい環境に期待と不安の気持ちでいっぱい。と同時に、私も、以前のクラスの先生にかわる信頼関係が築けるだろうか、心を開き様々な気持ちをみせてくれるようになってくれるかと、不安に思っています。

しかし、子ども達とあそんだり、会話をしたりと、そんな日常的な生活の中の喜びや楽しさを共感したり、時には子ども達の不安な気持ちの訴えを受けとめたりと、そんな



中で少しずつ、子ども達との信頼関係“絆”を感じられるようになってきました。

この様に純粋で素直な子ども達に何をしておられるか、日々の生活の中、考えてしまうことが様々な場面であります。その状況、その子どもにに応じて、言葉掛け対応も様々です。そして今、行ったことが本当に適切だったのかと。私にとっても日々経験と学びの繰り返しです。その中で、子ども達が持っているすばらしい力を見つけ、それを伸び伸びと発揮できるような環境をつくっていかれたらと思います。

絆を築くことは、簡単なことではありませんが、人とのつながりの中で大切なものです。その絆を多くの子ども達と感じていくことが出来ること。私にとって、とても大きな喜びです。



調理師会

調理師でよかった

旭保育園 調理師 高木 英子

1ヶ月あまりで、年長さんも卒園ですね、月日のたつのを早く感じるのは、私だけでしょうか。私の勤めている保育園は、田園地帯の農繁期季節託児所として、約80年前に開所した歴史ある保育園です。私も息子も旭保育園の卒園児です。何年あとかわかりませんが、孫が生まれ旭保育園に手をつないで通う日を楽しみにしております。園の周辺は、東バイパスが通り、流通団地や済生会病院などが建ち並びすっかり周りの景色が変わってしまいました。

変わったのは景色だけではありません。O-157などの、食中毒発生以来、材料の搬入から下拵え、調理の仕方、記録のとり方、すべてにおいて、より気を配ることが必要になりました。美味しい給食



を作るのはもちろんですが何よりも、安全であることが第一です。

以前保育士さんが言われたことを覚えています「先生達はよかね、朝から登園した子ども達が、今日の給食は何ですか？と聞いても今日の保育は何ですか、と聞かれたことがないとよ、それだけ給食に関心があるとよ羨ましかね」と話されたことがあります。給食を作る者にとっ

てこんなに嬉しいことはありません。

お世話させていただいているブロック研修も、実習はもとより、衛生研修、アレルギー食、すこしでも、皆様のお役にたつように、研修内容を検討いたしております。給食にたずさわる多くの先生方にご参加いただけたらと思っています。



園長会

祝 くまモンゆるキャラグランプリ日本一

画図保育園 副園長 松 隈 一 弘

皆様方もご承知の通り、子ども達にも大人気のくまモンがゆるキャラグランプリにて、「日本一」となりました。くまモンを裏方から支えられた関係者の方々、並びに「一生懸命」応援された皆様方、大変ご苦労様でした。

昨年は特に東日本大震災により日本国民全員に、未曾有の試練が与えられ、私達に様々な想いを考えさせられました。毎年恒例である世相を表す漢字においても「絆」が選ばれました。大震災を経験し改めて、日本人の道徳心、国民性の素晴らしさを再認識させて頂きました。一方、相変わらず政治・経済においては、良い話しが全くと言って聞かれません。そればかりか子ども達が被害者となる幼児遺棄事件etc・・・暗いニュースばかりが多い中でくまモンの快挙は、ここ最近で1番明るいニュースです。

園でもつい先日、保育発表会でのサプライズゲストとして、ご招待し感謝状を子ども達から

贈呈致しました。子ども達のくまモンへの関心が、いつまで続くかは分かりませんが？毎日、子ども達からどうしたら



「日本一」になれるのか？「日本一」って凄いの？等々、嬉しい質問攻めにあっております。

子ども達には、◎毎日続けること！◎自信を持つこと！◎お約束を守ること！etc・・・この機会を逃さないぞ！と言わんばかりに、くまモンに便乗し、子ども達への心の教育に大いに活用させて頂いております。くまモンありがとう！

子ども達&先生達、くまモンに続け！めざせ夢は大きく！「日本一」いや「世界一」！

2 月 の 予 定

会 合	日	時 間	会 場	研 修 内 容
調 理 師 全 体 研 修 会	2 (木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「子どもの病気と食事の関連について」 講師：熊本大学医学部附属病院小児科 中村 公俊 氏
調理師役員会	16(木)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館	5F 小会議室
保育士役員会	21(木)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館	5F 小会議室
理 事 会	14(火)	14:00 ~17:00	国際交流会館	3F 国際会議室
園 長 会	23(木)	14:00 ~17:00	崇城大学市民ホール	大会議室

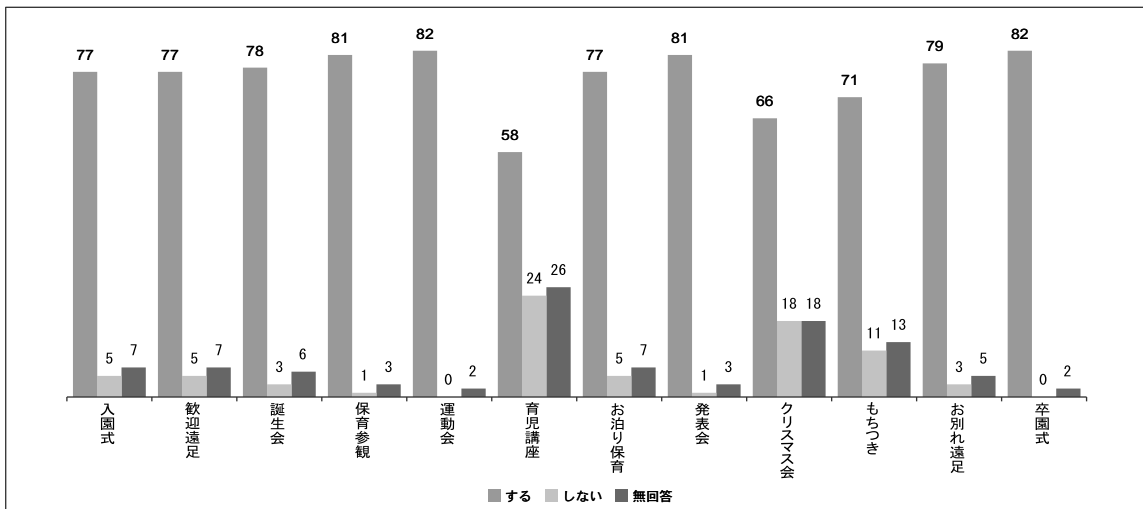
ご結婚おめでとうございます

- やまなみ保育園 1月 8日 保育士 武 森 縁 (旧姓 坂本)
- やまなみ保育園 2月11日 保育士 田 口 寿 里
- あ ぜ き保育園 2月11日 保育士 大 塚 丈 寛
- 本 妙 寺保育園 2月11日 保育士 高 田 直 美 (旧姓 牧)

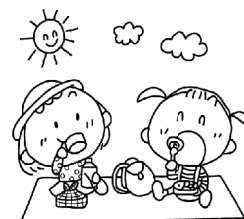
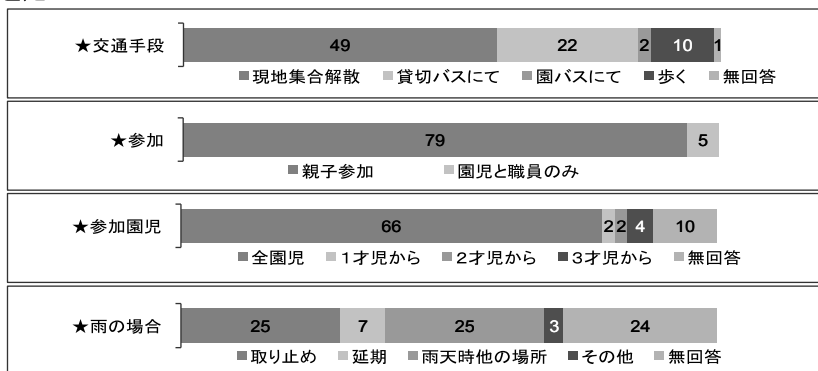
園行事どうしていますか？

アンケートのご協力ありがとうございました。84件の回答がありましたので、集計結果を2月号、3月号でお知らせします。（数字は園数です。）

《園行事について》



《歓迎遠足について》



<行き先>
 カントリーパーク（熊本県農業公園）・バスで1時間半ぐらいの場所・動植物園・二の丸公園・北岡自然公園・雑草の森・万日山・三井グリーンランド・カドリドミニオン など
<雨天時の場合の行き先>
 保育園で・昼食ができる場所・雑草の森・水の科学館・ファームランド・動植物園・恐竜博物館・フードバル など

《運動会について》

